

## 弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

臨床研究名称： ECMO 管理中における非 TEG6s 群と TEG6s 群の出血性合併症の比較検討

### 研究の目的

ECMO を施行する際は、血液と異物が直接接触するため抗凝固療法であるヘパリンを持続投与し ECMO 管理を行います。通常より出血し易い状態となるため、各臓器や刺入部から出血する場合があります。当院では 2019 年から血液粘弾性検査 TEG6s を導入し、ECMO の抗凝固管理項目に追加しました。TEG6s 導入前と導入後において出血の有無、輸血投与量、血液データの結果など関連する合併症から検証を行います。

研究実施期間： 実施許可日～ 2025 年 12 月 31 日

対象となる方： 2016 年 1 月 1 日から 2024 年 9 月 30 日の間、弘前大学医学部附属病院で ECMO を導入した患者を対象とする。

### 利用させていただきたい試料・情報について

(他機関に提供する場合、提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む)

当院のカルテに記録されている情報のうち、患者情報、採血データ、抗凝固療法、輸血量や合併症発生率、ECMO 日数などについて標記研究課題実施のために利用します。

なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して行います(これを匿名化といいます)。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん/その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承願います。

本件連絡先

弘前大学医学部附属病院 医療技術部 臨床工学部門 小笠原順子  
E-mail : kyusha91@hirosaki-u.ac.jp